

令和 6年（2024年）9月5日

山形大学アントレプレナーシップ教育研究センター ウズベキスタンでの地域課題解決型事業創出プログラム実施に向け、 山形県を含む6機関で実施協力のMOUを締結 ～「Yamagata yori-i project」の手法をウズベキスタンに実装～

【本件のポイント】

- アントレプレナーシップ教育研究センターは、ウズベキスタン共和国の雇用機会創出を目的に、2025年度からの地域課題解決型の事業創出プログラムの実施に向け、ウズベキスタンのビジネス開発銀行(BDB)、タシケント州、国際協力機構(JICA)、Uzbekistan-Japan Center(UJC)、山形県産業労働部の6機関で、プログラム検討・実施協力についてのMOUを締結した。
- プログラムは、山形県が2022年度から最上地区で実施し新事業創出に成果を上げている「Yamagata yori-i project」の手法を使い、タシケント州をモデル地域として、山形県、山形大学が有するノウハウをもとに、ウズベキスタンの地にあったプログラムを検討、実装していく。
- 今後、2025年度から3年間を目途に実施するプログラムをこの6機関で検討し、ウズベキスタンでの急速な人口増に見合った雇用機会創出に向け、地域課題解決から事業を創出し、利益を生み出すエコシステムを構築していく組織、プログラムを検討し、今年度中に実施契約を締結する。



【概要】

（背景・目的）

IMF 推計値において、ウズベキスタンの失業率は 2022 年 8.9%、雇用機会が労働人口増に追い付かず 2018 年以降、高い失業率（10%程度）が継続している。この課題に対処するために、同国では既存産業の収益力を高めることや起業を通じて雇用機会創出に努めており、取り組みの効果を上げるために、教育を通じて質の高い経営者を輩出することを目標としている。

この状況の中、昨年 11 月に BDB より中小企業経営者への教育、並びに起業家育成について、山形大学に対し協力依頼があり、アントレプレナーシップ教育研究センターで取り組んでいる実践的なアントレプレナー育成とリーンマネジメント手法を活用したプログラムを提供する意向について合意し、3 月 7 日に 2024 年度のプログラム提供の契約締結を実施した。現在、中小企業経営者向けオンデマンド講義、将来中小企業を指導していくコーディネータ候補生、BDB 経営陣、起業家に対する起業家育成の教育研修等を実施中である。

2025 年度からは、タシケント州をモデル地域とし、コレクティブインパクトの手法を活用し、セクターを超えた体制構築により、起業創出、参加企業の新事業展開の成果を上げている山形県の事業「Yamagata yori-i project」の手法を実装していく。

今回、2025 年度から 3 年間のプロダクト実施に向けた、検討・実施協力について、6 機関で MOU の締結を行い、今年度中に実施契約の締結を行う予定である。

尚、8 月 10 日 カザフスタンでの「中央アジア+日本」首脳会議の後、岸田首相がウズベキスタンに訪問した際のビジネスフォーラムにおいて MOU のお披露目を行う予定だったが、南海トラフ地震臨時情報の発表を受け地震対応等のため、岸田首相の訪問が中止となり、ウズベキスタンでのビジネスフォーラムは中止となった。

(プログラム概要)

- Step1: 中小企業経営者を指導、新事業を創出するコーディネータの教育 (2024 年度から継続実施)
Step2: タシケント州をモデル地区とした、yori-i project による地域課題解決型の新事業創出の実践。
Step1 で、教育したコーディネータが実際に新事業創出に取り組む。
Step3: モデルケースで経験、実績を積んだコーディネータが、他地域での独自でプログラムを展開。

お問い合わせ

山形大学アントレプレナーシップ教育研究センター 営生・服部
TEL 023-628-4075 メール yu-entre@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

【MOU連携機関の概要、署名者】

○Business Development of Bank (BDB)

署名者 | Sakhi Annaklichev, Chairman of the Management Board
所在地 | Navoi Street 18-A, Tashkent, Uzbekistan
事業内容 | ウズベキスタンにおける各種中小企業支援プログラムを通じた融資

○Tashkent Region Government of Republic of Uzbekistan

署名者 | Zoir Mirzayev, Mayor of Tashkent Region
所在地 | Tashkent, Uzbekistan
事業内容 | 首都タシケント市を含む 15 地区を有するタシケント州。yori-i project での地域課題解決型の事業創出を行うモデル地区としてフィールドを提供する。

○山形県

署名者 | 岡崎 正彦 産業労働部 部長
所在地 | 山形市松波二丁目 8 番 1 号
事業内容 | Yamagata yori-i project で成果を上げている経験をもとに MOU 締結機関と検討を実施

○Japan International Cooperation Agency Uzbekistan Office (JICA)

署名者 | 尾藤 好文 Chief Representative
所在地 | 5F International Business Center 107 B, Amir Temur, Tashkent, Uzbekistan
事業内容 | ウズベキスタン政府における人口増、環境問題対応等に対する貢献、青年海外協力隊の派遣による企業支援、事業化創出の支援を実施

○The Uzbekistan-Japan Center(UJC)

署名者 | 岩崎 寛央 Co-Director
Shamshimukhamed Nuriev Co Director
所在地 | 6F International Business Center 107 B, Amir Temur, Tashkent, Uzbekistan
事業内容 | ウズベキスタンにおける日本語教育、文化や伝統を学ぶプログラム、実践的な起業家教育を提供し、ビジネス、教育、文化の様々な分野における日本との交流プラットフォームを実現

○山形大学アントレプレナーシップ教育研究センター

署名者 | 小野寺 忠司 (教授) センター長
設立年月日 | 令和 (2022) 4 年 4 月 (令和 5 年 4 月から現センター名に変更)
所在地 | 山形市小白川町一丁目 4 番 12 号 (小白川キャンパス人文社会科学部 3 号館 8 階)
事業内容 | アントレプレナーシップ教育 (大学生、社会人、企業人、団体、中高生)
企業向けリーダーシップ教育、新事業創出教育
アントレプレナーシップに関する社会・地域との連携
ウズベキスタンへのアントレプレナーシップ教育プログラムの提供

ウズベキスタン共和国における地域課題解決型事業創出プログラム (Uzbekistan yori-i project) 実施に向けたMOU締結について

概 要 説 明

山形大学アントレプレナーシップ教育研究センター

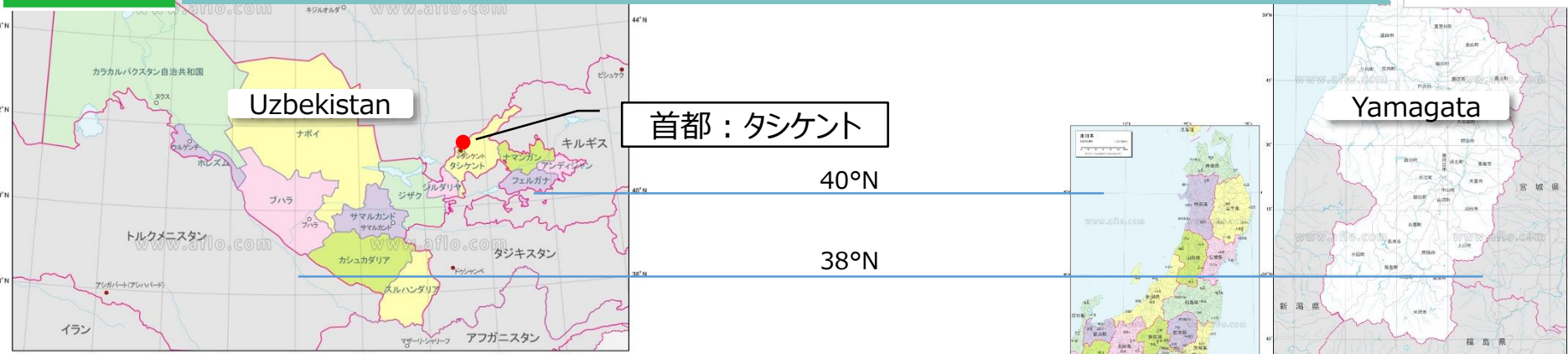
センター長 教授 小野寺 忠司

2024. 9. 5

Uzbekistan共和国について



ウズベキスタンは、中央アジアに位置する共和制国家で、世界に2つしかない二重内陸国（隣接する全ての国が海に面していない国）。中央アジア5カ国の中で最大の人口を有する。首都はタシケント。
この地は古来シルクロードの中継地、東西交渉の要所でもあり、シルクロードのオアシスといわれた。



ウズベキスタン共和国

人口：3,636万人※

首都：タシケント

言語：ウズベク語

※ 中央アジア地域全体の人口の40%を占めている。今後も増加が予測されており、2025年には3,705万人に達すると見込まれている。



日本

人口：1億2,397万人

首都：東京都

言語：日本語

山形県：

人口：102万人

*1: 2022年IMF統計

- ウズベキスタンでは、人口が**毎年100万人増え、80万人の若者が労働市場へ流入**
 - 雇用機会が労働人口増に追いつかず**失業率が 8.9%**と高水準で推移（日:2.6%）。*1
 - この課題に対応するため、同国政府は、既存産業、特に中小零細企業(GDPの54%, 労働人口の78%)の事業成長、及び **起業を通じた雇用機会の創出**を重点政策としている。
 - 政策の効果を上げるために、**教育を通じて質の高い経営者を輩出**することが国策として決定され、**大統領令**が発出されている。
- 
- 2024年度から、同国労働省傘下の**ビジネス開発銀行（BDB : Business Development Bank）**と、**山形大学アントレプレナーシップ教育研究センター**が**起業家教育プログラム**の提供、および現地での運営について、業務委託契約を締結し、現在実施中。

政府系銀行 ビジネス開発銀行(BDB)と プログラム提供についてLOIを調印 (2024/1/10)



ウズベキスタン・日本 ビジネスフォーラムでのお披露目

(1月10日@ウズベキスタン タシケント)

左から、ラジス・クドラトフ 投資産業貿易省、ビジネス開発銀行 CEO代理
小野寺 山形大学教授、上月 経済産業副大臣

2024年度、起業家育成プログラム提供の 事業委託契約を締結 (2024/3/7)



山形大学 学長記者会見 記事

(読売新聞 3月13日)

中央：ビジネス開発銀行
サフィー・アンナクリチエフ CEO

タシケント地域における地域ビジネスの創出と起業家の育成を通じた
課題解決に資するプロジェクト（Uzbekistan yori-i project）について

6機関で実施協力に向けたMOUを締結 (2024/8/10)

※当初、岸田総理出席のビジネスフォーラムでお披露目予定だったが、中央アジアサミットとともにビジネスフォーラムが延期となったため、それぞれの機関と個別に意見交換を実施

締結機関

- ・ウズベキスタン ビジネス開発銀行(BDB)
- ・ウズベキスタン タシケント州
- ・国際協力機構 (JICA)
- ・Uzbekistan-Japan Center (UJC)
- ・山形県
- ・山形大学
アントレプレナーシップ教育研究センター

政府連携

モデルエリア対応

青年海外協力隊
の活用等

起業家教育の連携

Yamagata yori-i
Projectの知見提供

プロジェクト管理



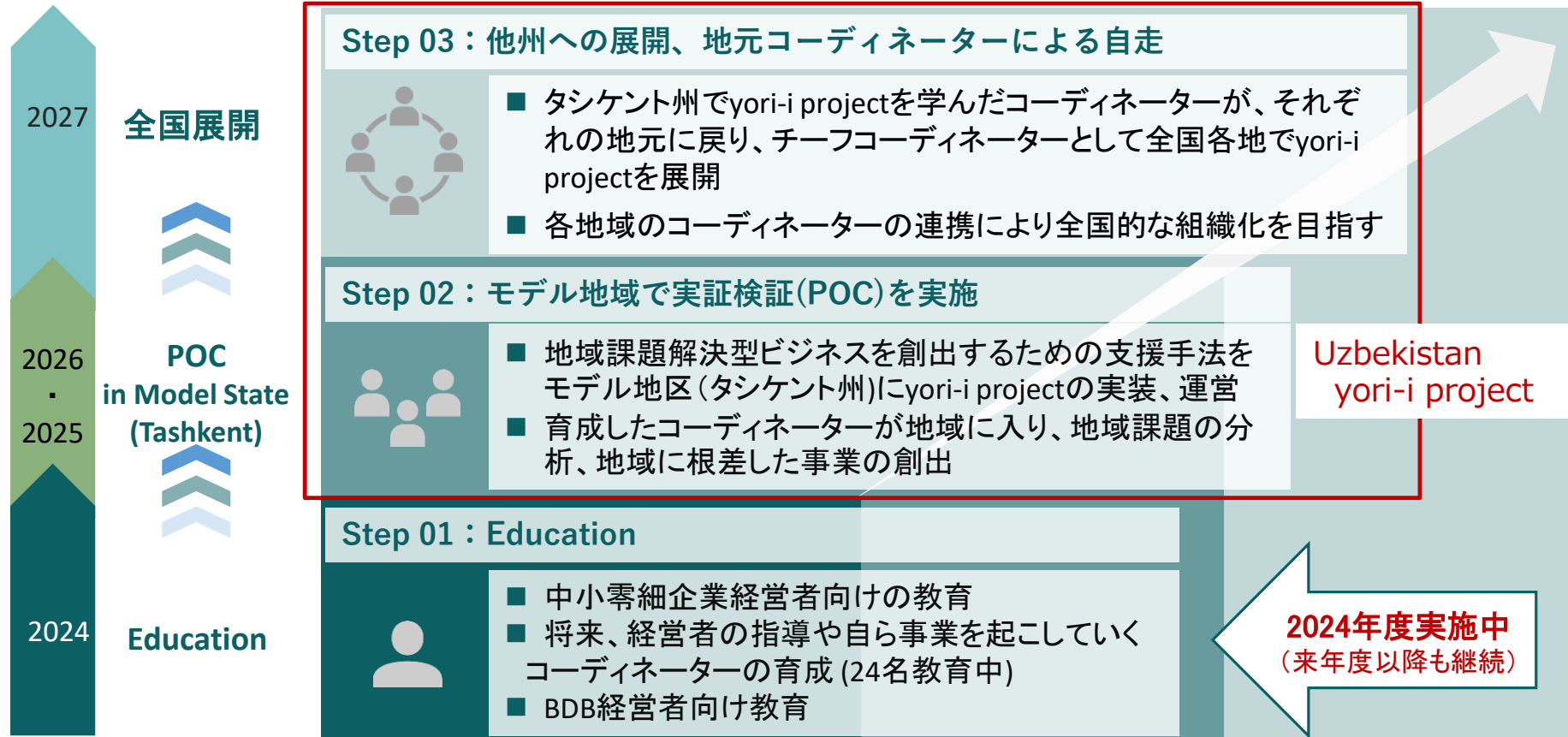
左から、岡崎 山形県産業労働部長
サフィー・アンナクリチエフ BDB CEO
小野寺 山形大学 教授



中央、エルキン・ムヒディノフ
タシケント州 第一副知事



左から二番目：尾藤 JICAウズベキスタン 所長、右側 岩崎 UJC 共同所長

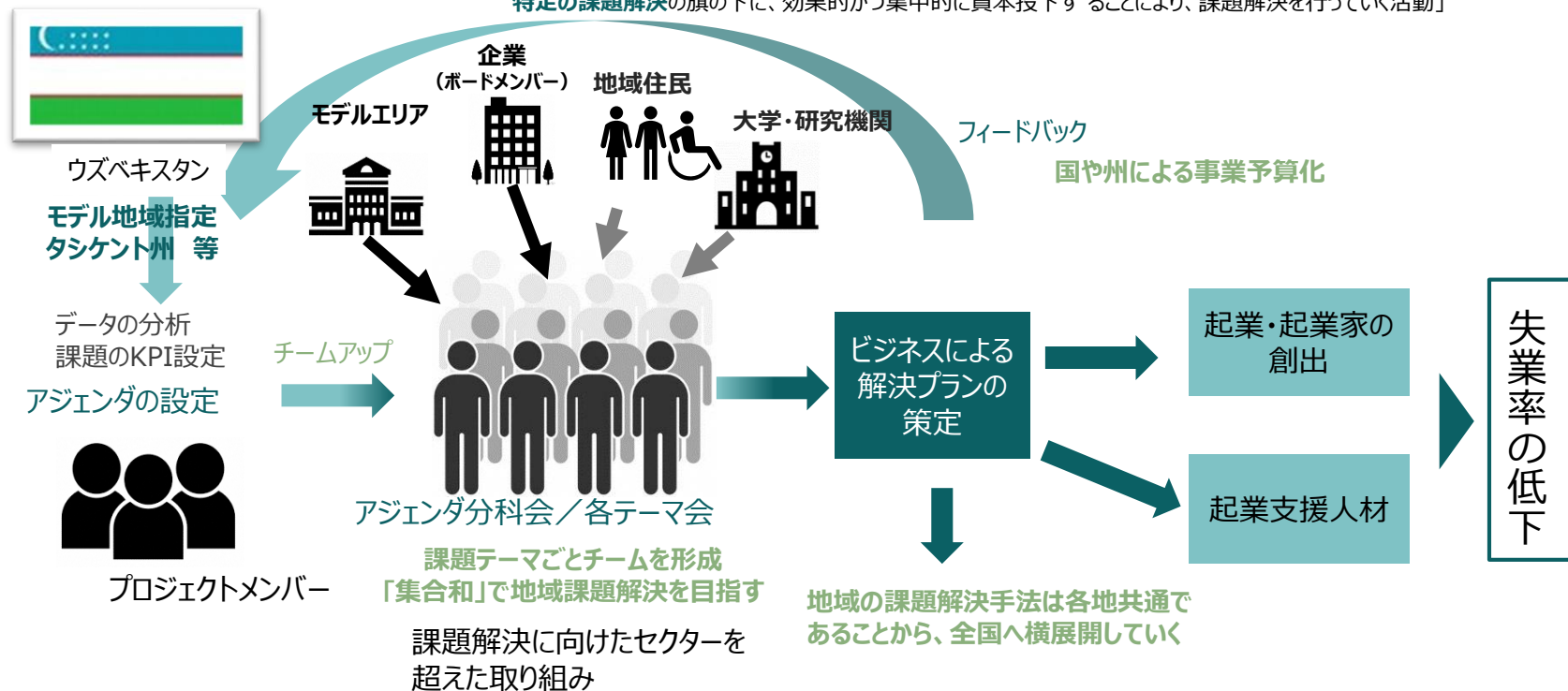


「コレクティブインパクト」による事業展開

社会実験として事業をスタートさせ、改善を繰り返し、事業としての精度を高めていく

Collective Impact（集合同的成果・影響力）

「コレクティブ・インパクトとは、特定の社会課題に対して、ひとつの組織の力で解決しようとするのではなく、**行政、企業、大学、NPO、基金、市民などがセクターを越え**、互いに強みやノウハウを持ち寄って、同時に社会課題に対する働きかけを行うことにより、課題解決や大規模な社会変革を目指すアプローチのことである。社会課題解決のために、**ヒト・モノ・カネ・情報**を**特定の課題解決**の旗の下に、効果的かつ集中的に資本投下することにより、課題解決を行っていく活動」



※ 今回のMOU締結者に加え、ウズベキスタンにおける日本研究や日本語教育の中核であるタシケント国立東洋学大学や、雇用・労働関係省の教育訓練施設であるモノセンターとも今後の連携について検討していく予定



**TSUOS - TASHKENT STATE
UNIVERSITY OF ORIENTAL STUDIES**

タシケント国立東洋学大学



**モノセンター／
日本語および特定技能試験準備センター**

課題解決型ビジネス創出のための「教育」の場

山形に来て先進国の課題解決を学ぶ

- ビジネス関連の人材育成も視野に入れた連携の検討
- 日本への留学生の繰り出し、高度人材の育成 等

これから発展していく国での課題解決を学ぶ

課題解決型ビジネス創出に向けた「実践」の場

Uzbekistan Yori-i Project

タシケント州

BDB

JICA

UJC

山形県

山形大学